

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	石井 義人	電 話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9965		事務事業名称	水質管理事業(水道事業_資本的支出)						短縮コード	経常	9965	臨時	
予算区分	会計	64	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	04	固定資産購入費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
水道水の安全性は、水道事業者の責務である。このため、水道事業開始以来、安全かつ清浄な水を送れるよう水質検査を実施している。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
平成15年度に水道水の水質基準が大幅に改正され、水質検査計画の策定や水質検査の信頼性確保に関する体制の導入が位置付けられた。今後、水質検査項目や検査方法等が随時見直されると共に、検査機器の整備等検査体制の充実が強く求められるようになっていく。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	02	安心・快適な給水の確保						
						細 項 目	01	水道水質管理の充実						
実施計画の計画事業														
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	水道水							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 水質検査を実施するとともに、水道水の安全性を確認するため、細菌検査機器，成分検査機器の購入をした。							
	※平成22年度に計画していること： なし。（購入機器の継続的使用）							
意図 （何を狙っているのか）	水質基準に適合した水道水を利用者に供給するため。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	一日平均給水量	m3／日	53,109	53,948	53,496	53,088	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	原水の水質検査検体数	件	10	0	10	10	
	指標2	給水の水質検査検体数	件	10	0	10	10	
	指標3							
成果指標	指標1	水質に関する苦情件数（赤水の苦情は除く）	件	5	0	10	0	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9965	事務事業名称	水質管理事業(水道事業_資本的支出)			所属名	維持管理課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	0	1, 029	981	0	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳				ポータブル吸光光度計 892千円 無菌箱 137千円	ポータブル吸光光度計 850千円 無菌箱 131千円		
	人件費 (B)			千円	0	4. 2	12. 7	0
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	0	1, 033. 2	993. 7	0	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由							
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	原水から給水に至るまでの水質管理をすることは、安心快適な給水の確保に結びつく。							
			☐ 結び付くが見直しの余地がある								
			☐ 結びつきが弱い・ない								
			☐ 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	常に、安心・快適な給水を確保するには、水質管理を継続していかなければならない。							
			☒ 達成していない								
			☐ 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	安心・快適な給水を確保するには、水道水を供給する責務であり、民営化することはできない。							
			☒ 可能性はない								
			☐ 評価対象外事項								
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の対象及び意図で、安心快適な給水を確保する目的に結びつく。							
			☐ 見直す必要がある								
☐ 評価対象外事項											
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	1 7 年度に、北千葉広域水道企業団及び水道法で定める水質検査の登録検査期間への水質検査を全て委託した。また平成 2 1 年度に、職員で出来る水質検査に係る検査機器の購入もおこなったため、これ以上の有効性や効率性を求めることはできない。							
			☐ 効率性向上の可能性はある								
			☐ 両方可能性はある								
			☒ 可能性がない								
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1			実施主体 (所管部署)			
			☐ 臨時的任用職員等の活用					2			実施主体 (所管部署)
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し								
			☐ 受益者負担の見直し								
			☐ 類似事業との統合・役割見直し								
			☐ 上記以外の方法								
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある								
			☐ ない								

コード	9965	事務事業名称	水質管理事業(水道事業_資本的支出)				所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			今後も、水質計画に基づいた検査機器の購入を実施することにより継続的に安全な水道水の供給をする。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状の内容で、安全な水道水が供給できるよう維持する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
健康指向の高まりに伴い、より安全で良質な水道水を求められるようになってきた。									

所属長コメント	水質管理業務は水質検査を実施し、安全な水道水の確認をすることが目的であり、機器を活用した検査で、安全な水の供給に努めます。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									